

様式第 3

会 議 録

会 議 名	第53回 野田市史編さん委員会会議
議題及び議題毎の 公開又は非公開の 別	1 副委員長の選出について（公開） 2 平成29年 5 月から平成30年 4 月までの活動状況について（公開） 3 平成30年度市史編さん事業計画及び予算について（公開）
日 時	平成30年 5 月23日（水） 午前10時30分から午前11時25分まで
場 所	野田市役所 保健センター 3 階 大会議室
出席委員氏名	委員長 鈴木 有 委 員 飯塚ひとみ 委 員 石田 年子 委 員 上原 初江 委 員 上山 和雄 委 員 北城 昭夫 委 員 下津谷達男 委 員 谷鹿 栄一 委 員 山下弘太郎 委 員 佐藤 裕 委 員 染谷 雅子
欠席委員氏名	委 員 木原 徹也
事 務 局	佐賀 忠（総務部長） 宮崎 等（総務部主幹(兼)市史編さん担当） 宮内友行（総務課主査(兼)市史編さん担当） 渡邊祐二（総務課主事(兼)市史編さん担当）
傍 聴 者	無し
議 事	
第53回 野田市史編さん委員会会議の会議結果（概要）は、次のとおり。 宮崎主幹：皆様、本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。会議に先立ちまして人事異動による職員紹介をさせていただきます。	

《人事異動による職員紹介》

宮崎主幹：ただいまから「第53回 野田市史編さん委員会」を開会いたします。
市史編さん委員会設置条例第6条第2項により、半数以上の出席で会議成立。本日は11名の出席、全委員12名の過半数以上となり、会議が成立しています。

会議の公開につきましては、個人情報等（野田市情報公開条例第6条に規定する不開示情報をいいます）の不開示情報を取扱うことがありませんので、公開することとしております。

なお、審議をいただく案件の中に、個人情報等が含まれる場合には、その都度、委員長より委員にお諮りし、非公開の決定を行うこととさせていただきます。

また、会議資料及び会議録は、市役所1階の行政資料コーナーに配置し、閲覧できるようにしておりますので、ご了承願います。

次に、資料の確認をお願いいたします。よろしければ進めさせていただきます。

最後に、会議の次第は、会議録を作成するために録音させていただきますので、ご了承願います。

それでは本委員会委員長である、鈴木有市長より、ご挨拶申し上げます。

鈴木委員長：第53回 野田市史編さん委員会の開催にあたりまして、委員長として一言、ご挨拶を申し上げます。

本日は大変お忙しいなか、野田市史編さん委員会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

今回の会議から、引き続きご協力をお願い申し上げる11人の委員の方に加えまして、新たな委員として、佐藤裕教育長を2号委員としてお迎えしました。どうぞよろしくお願いいたします。

野田市史編さん事業は、近年の社会環境の変化や地域に密着した伝統文化の継承などの様々な課題があるなか、委員の皆様のご指導・ご協力をいただきまして『野田市史』の刊行を行っております事を、重ねて御礼申し上げます。

私は、野田市の将来のためには、先人が築いてきた歴史・文化を学ぶことが野田市への愛郷心を養うとともに未来へ向けたまちづくりへの指標となるものと考えております。野田市を知ることが郷土愛につながり、子どもたちにもっと地域の歴史や文化・人物を知ってもらい、野田市に対する愛郷心を養ううえでも重要であり、先人たちが築いてきた歴史や文化に学びながら、まちづくりを行うことが大切だと考えております。

今後とも野田市史編さん委員会の委員の皆様のお力とお知恵を拝借し、課題を克服しながら事業を進めてまいる所存でございます。皆様のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

《委嘱書交付・委員紹介》

宮崎主幹：なお、本日は現時点で傍聴者はございませんが、審議途中で傍聴の希望がありました場合は、入室いただくことになりますので、ご了承願います。

それでは、委員会条例第6条により委員長が議長となる旨が規定されていますので、委員長に議長をお願い申し上げます。

1 副委員長の選出について

鈴木委員長：それではただいまから、議事に入らせていただきます。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

市史編さん委員会設置条例では、副委員長は2人で、委員の互選となっておりますが、東條前副委員長の後任の選出について、お諮りいたします。いかがいたしましょうか。

飯塚委員：佐藤教育長にお願いしたらどうでしょうか。

鈴木委員長：ただいま飯塚委員の方から、佐藤教育長のお名前が挙がりましたが、他にございますでしょうか。

無い様でしたら、佐藤教育長にお願いしたいと思いますが、これにご意見ございませんか。

委員（複数名）：異議なし。

鈴木委員長：よろしいですか。異議なしということですので、佐藤委員よろしくをお願いいたします。

佐藤委員：よろしくお願いします。

鈴木委員長：また下津谷副委員長におかれましては引続きよろしくお願いいたします。

2 平成29年5月から平成30年4月までの活動状況について

鈴木委員長：次に、議題1「1 平成29年5月から平成30年4月までの活動状況について」に入ります。事務局より説明をお願いします。

宮内主査：（別紙資料により、以下について説明）

（1）市史編さん事業実績

（2）各専門部会の活動状況

鈴木委員長：ただ今の報告について、何かご質問やご意見などございましたら、をお願いいたします。

石田委員：民俗調査報告書が10冊出ましたが、その他にも『通史』のようなものが刊行される予定はありますか。

宮崎主幹：刊行計画の中で、民俗調査報告書を市全域で10冊刊行しました。その他に『別編』として1冊を刊行予定としています。これは、関宿町との合併以前の計画の段階で1冊と考えていたものです。実際関宿地域の調査をしてみると、関宿の旧藩領では民俗が違うことから、論考的なものとこれまでの調査のまとめを1冊で出すのか、違う方法を考えるのかを含めて検討したいところです。計画としては現状で、別編民俗1冊の刊行計画があるということになります。

石田委員：10年くらい前に野田市全域の絵馬を私たち(石田委員と野田地方史懇話会の絵馬部会)が調査し、約1600面が確認できました。その成果の調査カードが社会教育課の文化財係にありますが、あまり活用できないのではないですか。民俗がまだ出るのであれば、活用してほしいです。社会教育課との共作としていますが、私たちとしては使ってほしいのですが。

宮崎主幹：社会教育課で絵馬のデータが保存されていることは承知しています。成果を博物館の特別展で利用させていただいております。このような文化財も民俗で扱うので、こういった形で生かせるのか、全体を『民俗編』に

載せるというのは難しいので、民俗部会の編集委員の小川浩先生ともご相談させていただき、検討したいと思います。

石田委員：専門家にも見ていただきたいと思います。カード化しただけなので価値判断ができていないです。少しでも使っていただければ、報われます。

鈴木委員長：10年くらい前だと、旧関宿町（関宿地域）も含めて調べているのですか。

石田委員：旧関宿町は私が調べたものがあつたので、それに合併分（野田地域）を含めて約1600面になります。

鈴木委員長：まとめられていないのですか。

石田委員：文化財係からそういう話もありましたが資金的に難しいという事でした。

鈴木委員長：検討させていただきます。

3 平成 30 年度市史編さん事業計画及び予算について

鈴木委員長：次の議題に入ります。議題 3 「3 平成30年度市史編さん事業計画及び予算について」事務局から説明をお願いします。

宮内主査：（別紙資料により、以下について説明）

- （1）平成 30 年度市史編さん関係予算の説明
- （2）平成 30 年度各部会別の事業計画案について
- （3）その他の事業案について
 - ①「野田市史研究」(29 号)の編さんについて
 - ②第 27 回市史講演会の開催について

鈴木委員長：ただいま、説明がありましたが、何か質問がありましたらお願いします。それではご了承いただくということでよろしいでしょうか。

委員（複数名）：異議なし。

鈴木委員長：それでは、最後に何かございましたらお伺いします。

山下委員：野田市駅の駅舎が取り壊されました。かなり古い写真にも載っているそのままの姿でした。これに関して資料的な収集をしていますか。

宮崎主幹：市史編さんの活動としては工事の経過写真は少し撮っていますが、それ以外の内部の調査等はしておりません。

山下委員：残念です。かつて興風会館と旧駅舎の二か所に、近隣では珍しい洋

食のレストランがあったといいますが、私は食品関係なので今回の取り壊しの前に調査をしたかったです。

鈴木委員長：都市整備課でやっていないかを確認してほしい。

宮崎主幹：確認します。

下津谷委員：山下委員が話をされた興風会館の食堂は地下にありました。子どもの頃に行ったので覚えています。トンカツが出されたのが野田で初めてだったのではないかと聞いたことがあります。野田駅の食堂も知っています。いつ頃かはっきりしないが、戦争中には社員食堂になってしまいました。学校の行き帰りに見ていましたが、野田駅の食堂には入ったことはありません。

上山委員：市外に住んでいますが、頻繁に野田市に来ていますが、今日駅舎がなくなっている事に気付きました。建物や近代遺産というものは、市史の編さん委員会や市史編さん担当というよりも、本来は文化財の担当。文化財の担当や博物館で市内全域の古い物の保存を考えて、記録を取っておくことを心がけていただきたい。市史編さんで対応するのは無理なのではないかと思っています。

鈴木委員長：歴史的な建物は、公以外の民間の建物も多い。どのように遺していくかが難しい。ましてや個人のお宅の物を遺すことはなかなか難しい部分があると思う。心がけていかなければ、後世に伝わらない。気を付けたいと思います。

本町通りの町並みをまちづくりとして活性化につなげたいが、市外から来た人たちには印象が強いが、自分たちは生まれてそういう町並みなので、それほどではない。そのあたりがもったいない。

旧関宿町に行くと神輿の担ぎ方が全然違う。もみ方がすごく、潰されるのではないかと思った。担ぎ方一つにしても興味深い。祭り自体（年中行事）もそうだが、記録として遺さなければいけないと痛感いたしました。

他にございますか。

宮崎主幹：市史編さん刊行計画に基づき作業をしていますが、遅れが生じており、専門部会ごとに刊行計画全体の調整作業をしたいと考えています。今年度、そういった話を各専門部会で話をし、それを集約して編集委員会に諮ったうえで、委員会会議で改めて議題とさせていただきたいと思っております。

す。

鈴木委員長：それでは議事を終了させていただきます。これからも皆様にはご指導ご鞭撻を賜りますことを申し上げまして、議事を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。

宮崎主幹：以上をもちまして、「第53回野田市史編さん委員会」を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以 上